



2026年2月13日

各 位

会 社 名 M R T 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 小 川 智 也
(コード番号:6034 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 西 岡 哲 也
TEL. 03-6415-5295

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表しました2025年12月期の通期連結業績予想と本日公表の実績とに差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期の通期連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位:百万円)

	売上収益	営業利益	税引前 当期利益	当期利益	親会社株主 に帰属する 当期利益	1株当たり当 期利益
前回発表予想(A)	4,500	150	150	100	80	13.99
実績B)	4,191	95	108	50	55	9.91
増減額(B-A)	△309	△55	△42	△50	△25	-
増減率(%)	△6.9	△36.6	△28.0	△50.0	△31.2	-
(ご参考) 前期通期実績 (2024年12月期)	4,165	△119	△332	△335	△309	△56.55

2. 修正の理由

2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の通期の連結売上収益につきましては、経営方針に基づき常勤紹介サービスおよび自治体業務受託の拡大に向けた積極的な投資と施策を推進しました。

その結果、常勤紹介サービスは過去最高の売上収益を達成し、主力事業の成長基盤は一層強化されました。一方、医療情報提供をはじめとするその他サービスでは、営業体制の強化や基盤整備を優先したことにより立ち上がりに時間を要し、当社グループの売上収益は前回発表予想を下回る結果となりました。

利益面につきましては、売上収益の未達影響に加え、将来の成長を見据えた戦略的投資を積極的に実行したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。具体的には、(1)海外事業展開に向けたライセンス取得を含む初期立ち上がり投資、(2)ブランド刷新および人事制度改定など、成長基盤強化のための一時的な費用、(3)子会社サービスの競争力強化に向けた継続的なシステム投資などを実施いたしました。また、連結子会社において当期損失が発生したことにより、当該繰越欠損金に対する繰延税金資産を計上していないため税金費用が増加し、当期利益および親会社株主に帰属する当期利益は前回発表予想を下回りました。

その結果、各段階利益は前回発表予想を下回る見込みとなりましたが、いずれも将来の成長加速に向けた基盤構築のための先行投資であります。

これらは一時的要因によるものであり、今後の収益拡大に向けた体制整備は着実に進展しております。

以 上